



2/12 山梨県にらさき韮崎市との防災協定締結

山梨県韮崎市と「災害時等の相互応援に関する協定」を締結しました。協定を締結したことで、災害時に、食料・水などの物資提供や応急復旧のための職員派遣など、相互に応援できるようになりました。防災協定を締結している県外市町は、福島県会津坂下町、千葉県富津市、茨城県牛久市、新潟県十日町に引き続き、5団体目となりました。



2/7~16 きたもと街バル開催!特別価格で魅力的なお店をハシゴ!

期間中、市内のお店を食べ歩き、飲み歩き、買い歩きしながらハシゴする「きたもと街バル」が開催されました。1枚800円3枚綴りのチケット購入者は、47の店舗の中から期間限定メニューを楽しみました。昨年よりも日数が倍に増え、「初めての店に立ち寄り新たな発見があった」との声が多く寄せられ、北本のお店の魅力を知るきっかけになったのではないのでしょうか。



2/16 未来へつなごう伝統の響き! 郷土芸能大会が盛大に開催

文化センターで第21回北本市郷土芸能大会が開催されました。子どもたちのお囃子から始まり、ひっかわせ競演や勇壮な剣武、獅子舞などが披露され、北本に伝わる伝統芸能に会場は大きな拍手に包まれました。見学者は「北本市の郷土芸能が今日まで続いているのに感動した。」「若い人たちも多く出演していて楽しく拝見できた。」と笑顔で話していました。

突撃! 市民リポーター

リポーター 大嶋 佐知さん

きたもと春のお茶会

まもなく東京オリンピック・パラリンピックが開催されますね。オリ・パラ開催はもちろん、日本の観光スポット・食・文化が注目を浴びる中、伝統文化である「茶道」がいま海外から高い関心を集めていることをご存知でしょうか。'どなたでも気軽にお茶を楽しんでいただきたい'との思いで、北本市では毎年4月頃「春季茶会」が開催されます。3つの茶席を自由にまわり各々風情の異なるしつらいやお茶とお菓子を楽しむことができ、さらにお弁当付き! 昭和50年に北本市茶道協会が発足した当時、北中講堂の片隅でひっそりと始まったお茶会は、現在多くの人が毎年楽しみにしている春の一大イベントになっています。今年は残念ながら中止となりましたが、来年は広報きたもと「きたもと掲示板」の開催案内をチェックしてみてくださいね。

茶道協会は小学校等での茶道体験をはじめ公民館での茶道教室や地域に根ざした活動に広く取り組んでいます。茶道のことをよく知らない人でもお茶を楽しむための極意をお聞きましたよ!

一服のお茶には亭主のおもてなしの心が込められています。床の間の掛物や花、点前で用いられる道具、供される茶と菓子。そうしたものの一つ一つに興味を持つことがとても大切だということ。あとは気軽に楽しんでくださいね、とのことでした。利休の弟子の『山上宗二記』の中に「客人振りの事、一座建立にあり、一期に一度の参会の様に」とあり、亭主と客の交流の中にその道があるように思います。

市民リポーター

検索

Web版もご覧ください▶